

神鉄シーパスワンに関する陳情

陳情第125号

都市局

陳 情 要 旨 等	
陳情者	神戸市北区 川口 福夫
陳情要旨	<p>【陳情第125号】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 神鉄運賃が1月に値上げされていますが、令和7年度「神鉄シーパスワン」の値上げはやめていただきたい。 2. 神鉄シーパスワンの制度は、一日も早い本格実施をもとめます。 3. 神鉄シーパスワンの購入時にマイナンバーカードを持たない人への手数料（500円）負担は止めて頂きたい。
陳 情 に 対 す る 神 戸 市 の 考 え 方	
<p>1. 神鉄シーパスワンの値上げについて</p> <p>神鉄シーパスワンは、西北神地域の基幹鉄道である神戸電鉄の利用促進を目的に、平成27年度から、シニア層を対象として販売する企画乗車券であり、利用者負担と市の運賃補填および運行事業者の協力のもと成り立っています。</p> <p>令和7年1月19日に、神戸電鉄は、近年の物価高騰、人件費の上昇に加え、激甚化する自然災害への対策や老朽化した鉄道インフラの維持・更新等に対応する必要があることを理由として、普通運賃や定期券、企画乗車券を問わず、全乗車券を対象とした運賃値上げを実施しました。</p> <p>この値上げにより、令和7年度のシーパスワンの価格は、普通運賃と同様に改定を行う予定です。なお、改定後の金額は、従前と同様の負担の考え方のもと、普通運賃の値上げ額を基準として引き上げることとし、市の負担額も増額しながら実施することにしています。今後、神戸市の令和7年度予算成立後、丁寧に利用者へ周知してまいります。</p> <p>2. 本格実施について</p> <p>本格実施への移行には費用面と運用面での課題を解決し、事業の持続性を確保することが必要と考えています。</p> <p>費用面では、対象者が毎年増加することにより、今後も市が負担する運賃補填額が増加していくことが見込まれ、経費削減が課題となっています。運用面では、将来を見据えたICやQR化の可能性など、脱磁気化について対応していく必要があります。</p> <p>神鉄シーパスワンについては、今後も継続的に実施すべき事業と認識しており、利用状況の推移などをみながら、関係する鉄道事業者とも課題解決に向け協議を進め、より便利で使いやすいものに改善できるよう本格実施について引き続き検討してまいります。</p> <p>3. 販売引換券について</p> <p>神鉄シーパスワンは、市内70歳以上の方を対象とし、かつ購入枚数を1人5枚までと制限していることから、販売の際には、マイナンバーカードや販売引換券に記録された氏名・住所・年齢の情報を読み取り、ご本人の購入情報と照合することで、本人確認と枚数管理を行っています。なお、マイナンバーカードの場合、氏名・住所・年齢の情報はカード内のICチップから読み取っていますが、このチップには、病歴や税や年金といった個人情報には記録されていません。</p> <p>販売引換券については、当初は、対象者への全戸郵送を行っていましたが、年々対象者数の増加が見込まれる中、提供するサービスを極力低下させることなく事業を継続するため、まずは販売方法の変更により経費を節減する方針としました。令和4年度より全対象者への販売引換券の郵送を廃止し、マイナンバーカードの提示による販売を基本としております。これにより、窓口での販売引換券と本人証明の提示や、販売引換券の保管が不要となることから、利用者の利便性向上にも寄与しているものと考えています。制度変更以降も販売枚数は増加傾向で、マイナンバーカードでの購入率も令和7年3月現在94%と増加しており、引換券の発行件数は年々減少しています。</p> <p>販売引換券の発行には、申し込みの受付や引換券の作成、郵送等に経費が必要となることから、各年度初回のみ500円をご負担いただくものです。事業継続のためご理解いただきますようお願いいたします。</p>	